

おひなさま

ねらい

卵のからという壊れやすい素材をていねいに扱ってみよう！
身近なものを組み合わせてリアルにつくろう！

対象

幼稚園年長～小学校高学年

材料

おひな様本体 --- 卵、トイレットペーパーの芯、色紙（千代紙）
ぼんぼり ----- 卵、色紙、ストロー、ペットボトルのふた
台座 ----- お菓子の箱、いろがみ
その他 ----- マジック、アルミ箔、セロテープなど

所要時間

1時間以上～

作り方

ナマたまごの中身（黄身・白身）を出す。

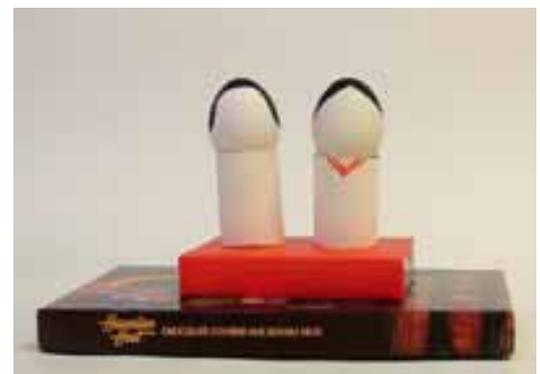
*今回はおひな様の頭をとんがった方を
上にするので平たい方に穴をあける。
（箸でつついてわる。）

トイレットペーパーの芯を2等分にする。
それにさきほど穴をあけて中身をだした
卵のからをのせておひな様本体をペアで
つくる。顔、髪の毛などをマジックペン
などで描く。（色鉛筆とも相性がよい。）

着物は折り紙などを巻いてつくる。

*羽二重っぽく何枚か色を重ねてまいても
よい。

台座をお菓子の空き箱などでつくる。
色紙を貼ったり、色を塗ったりして雛壇
の雰囲気をつくっていくとよい。



ぼんぼりもさきほどの要領で卵のからを使ってつくる。（とんがった方に穴を開ける。）ストローの先に細かく切り込みをいれて、セロテープでペットボトルのふたにつける。（ふたがぼんぼりの台になる。）

びょうぶをつくる。
アルミ箔をてきとうな画用紙に貼り、折る。

おひなさまの持っているもの（扇子や拍子木など）や、びょうぶ、台座をマジックや色紙で飾り付けていく。

できあがり！



作成のポイント

ワークショップとして行う際、ひな祭りの話や、写真、イラスト付きでひな壇の説明をする。
今回はお内裏様、おひな様とぼんぼりだけをつくったが、三人官女、五人囃子、もも、なつみかんの木、ひしもちなどディテールにこだわって作り込むととてもよいと思う。

参考作品

幼稚園年長さん作品。

